



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月8日

上場会社名 株式会社 アテクト 上場取引所 東
 コード番号 4241 URL <http://www.atect.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小高 得央
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部次長 (氏名) 菅原 偉夫 (TEL) 0748-20-3400
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|-------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期第3四半期 | 2,232 | 8.9 | 195 | 45.6 | 177 | 62.5 | 137 | 86.7 |
| 2018年3月期第3四半期 | 2,050 | 11.5 | 133 | △10.2 | 109 | △2.2 | 73 | △1.6 |

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 132百万円(48.1%) 2018年3月期第3四半期 89百万円(21.9%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期第3四半期 | 31.56 | 31.07 |
| 2018年3月期第3四半期 | 17.05 | 16.68 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2019年3月期第3四半期 | 5,556 | 1,654 | 28.8 |
| 2018年3月期 | 5,877 | 1,556 | 25.6 |

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 1,601百万円 2018年3月期 1,506百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年3月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |
| 2019年3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 2019年3月期(予想) | | | | 10.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,800 | 4.9 | 230 | 43.3 | 200 | 82.8 | 120 | 45.4 | 27.64 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2019年3月期3Q | 4,359,600株 | 2018年3月期 | 4,352,600株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年3月期3Q | 15,595株 | 2018年3月期 | 15,499株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2019年3月期3Q | 4,341,141株 | 2018年3月期3Q | 4,306,122株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (追加情報) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間を含む2021年度3月期までの3年間に於いて売上高30億円、営業利益3億円（営業利益率10%）以上を必達目標とし、経営改革を推進中です。同時にEBITDA（営業利益＋減価償却費）を最大化することで新工場建設に伴う大型投資の早期回収を進め、盤石な財務基盤を構築して参ります。

当連結会計年度における具体的な活動は以下の通りです。

1. P I M事業：材料販売の再開と新規部品販売による過去最高の売上高・営業利益の実現
2. P I M事業：2021年以降の拡大3大アイテム（ターボ部品・セラミックスボール・セラミックス放熱板）の商品化加速
3. 衛生検査器材事業：成熟市場における永続的プラス成長実現可能な営業体制の確立
4. 半導体資材事業：旺盛な需要に対応可能な更なる増産体制による大幅な増収増益
5. 全社共通として徹底した経費節減と投資の抑制

当第3四半期連結累計期間における上記活動は概ね順調に進捗しております。

中でも半導体資材事業は当第3四半期連結累計期間においても前年同期比21.8%増の大幅成長を継続しており、想定を上回る売上高となりました。また、P I M事業においては直動型ベアリング部品の量産を開始、ウェアラブルデバイス用チタン合金の材料販売も奏功し、当第3四半期連結累計期間のグループ連結売上総利益額は2006年3月期の上場以来、過去最高の1,044百万円（売上総利益率46.8%）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,232百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益195百万円（前年同期比45.6%増）、経常利益177百万円（前年同期比62.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は137百万円（前年同期比86.7%増）となりました。

セグメントの経営成績は次の通りであります。

なお、セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

① P I M(パウダー・インジェクション・モールドィング)事業

当連結会計年度に入り、2021年以降の本格事業化を目指したガソリンターボエンジン用ノズルベーン（Variable Geometry：VGターボ）、セラミックスボール、電動車用セラミックス放熱板（窒化ケイ素）の3大アイテムの商品開発と並行し、材料販売の再開（焼結部品販売において競合しない先）と高付加価値機構部品の受注活動を本格的にスタートしました。その結果、世界中で逼迫している直動型ベアリング（THK株式会社向け、LMガイド）のステンレス製部品の7アイテムを正式受注し、本格生産を開始しました。また、材料販売においてはウェアラブルデバイスの焼結体部品製造に使われるチタン合金材料の量産を開始しました。

一方、上述の3大アイテムの中で2022年量産を目指すM I M（メタル・インジェクション・モールドィング）工法における国内大手ターボメーカーより、ドイツ自動車メーカー向けガソリンエンジン用VGターボの約100セット分の正式試作受注を獲得し、量産時の正式採用に向け、顧客との連携をより一層強化して参ります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は67百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益20百万円（前年同期比41.9%増）となりました。

② 衛生検査器材事業

衛生検査器材事業においてはここ数年、安定した売上高、営業利益を維持しておりますが、国内の食品衛生業界は「成熟市場」に入ったことから当社の成長もやや鈍化しております。そのような中、新設した営業戦略企画部とITシステム部門が連携し、安定継続顧客の堅持（失注の防止）・受注が途切れていた顧客の復活・新規顧客獲得の3つの視点から、営業企画チーム、テレマーケティングスタッフの機能・役割を細分化し、新たな活動を展開中です。9月に発生した関西台風と北海道地震の影響により同地区の販売が著しく低下したことで、当第3四半期連結累計期間の売上高は微減となりましたが、当第3四半期連結会計期間単独での売上高は2.8%の増収となりました。

また、減益の主な要因としては、シャーレ製造ラインの滋賀工場移転時のリスク（稼働損）回避の為に在庫を適正化したことによる生産調整が大半の理由となります。キャッシュフロー重視の観点から、当連結会計年度においては、更なる生産革新を進め、生産LTの短縮と成形サイクルの向上により、一層在庫圧縮を実現して参ります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,179百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益49百万円（前年同期比16.8%減）となりました。

③ 半導体資材事業

2018年3月期の半導体資材事業は前年同期比出荷数量で26.1%増、売上高で30.9%増と大きく伸張しました。当連結会計年度においても20%以上の成長が見込まれる中、日韓両工場の合計生産能力を前年の月産能力570万mから800万mに引き上げるべく、生産増強を完了しております。2018年7月以降の受注数量は6ヶ月連続で700万mを上回り、当第3四半期連結累計期間における出荷数量は23.2%増と大きく伸長、大幅な増益となりました。今後も旺盛な需要は継続する見込みです。

世界No.1のスペーサーテープメーカーとして、当社スペーサーテープを2.6倍消費する4Kテレビ及び一部採用が開始されたスマートフォンやICカード、医療用デバイス向け対応も含め、もう一段の能力増強を早急に進めて参ります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は985百万円（前年同期比21.8%増）、営業利益124百万円（前年同期比109.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ5.5%減の5,556百万円となりました。

これは、「受取手形及び売掛金」が38百万円、「機械装置及び運搬具」が204百万円増加する一方、「現金及び預金」が367百万円、「建設仮勘定」が226百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ9.7%減の3,902百万円となりました。

これは、「短期借入金」が115百万円、「1年内返済予定の長期借入金」が24百万円、「設備関係支払手形」が262百万円、「長期借入金」が49百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ6.3%増の1,654百万円となりました。

これは、「利益剰余金」が93百万円、「新株予約権」が3百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 890,356 | 523,325 |
| 受取手形及び売掛金 | 397,820 | 436,484 |
| 商品及び製品 | 176,772 | 170,510 |
| 仕掛品 | 20,765 | 18,172 |
| 原材料及び貯蔵品 | 228,725 | 239,660 |
| その他 | 62,061 | 43,842 |
| 貸倒引当金 | △370 | △412 |
| 流動資産合計 | 1,776,131 | 1,431,583 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,031,815 | 1,043,288 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 620,951 | 825,379 |
| 土地 | 1,534,491 | 1,531,044 |
| 建設仮勘定 | 577,734 | 350,885 |
| その他 | 111,047 | 157,503 |
| 有形固定資産合計 | 3,876,041 | 3,908,101 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 100,873 | 89,053 |
| 無形固定資産合計 | 100,873 | 89,053 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,700 | 2,986 |
| 繰延税金資産 | 100,950 | 105,270 |
| その他 | 20,873 | 20,771 |
| 貸倒引当金 | △791 | △791 |
| 投資その他の資産合計 | 124,733 | 128,236 |
| 固定資産合計 | 4,101,647 | 4,125,391 |
| 資産合計 | 5,877,779 | 5,556,975 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 388,488 | 389,592 |
| 短期借入金 | 290,000 | 175,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 807,233 | 783,054 |
| リース債務 | 16,086 | 11,291 |
| 未払金 | 65,484 | 81,416 |
| 未払法人税等 | 8,674 | 40,650 |
| 賞与引当金 | 39,707 | 25,247 |
| 設備関係支払手形 | 275,493 | 13,073 |
| その他 | 57,394 | 59,515 |
| 流動負債合計 | 1,948,563 | 1,578,841 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,370,472 | 2,321,419 |
| 繰延税金負債 | 121 | 97 |
| その他 | 2,169 | 2,230 |
| 固定負債合計 | 2,372,763 | 2,323,746 |
| 負債合計 | 4,321,326 | 3,902,588 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 775,841 | 778,605 |
| 資本剰余金 | 695,841 | 698,605 |
| 利益剰余金 | 78,326 | 171,981 |
| 自己株式 | △7,572 | △7,722 |
| 株主資本合計 | 1,542,437 | 1,641,469 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,646 | 1,151 |
| 為替換算調整勘定 | △37,322 | △41,133 |
| その他の包括利益累計額合計 | △35,675 | △39,982 |
| 新株予約権 | 49,691 | 52,899 |
| 純資産合計 | 1,556,453 | 1,654,387 |
| 負債純資産合計 | 5,877,779 | 5,556,975 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 2,050,451 | 2,232,748 |
| 売上原価 | 1,066,258 | 1,187,956 |
| 売上総利益 | 984,193 | 1,044,791 |
| 販売費及び一般管理費 | 850,261 | 849,773 |
| 営業利益 | 133,932 | 195,018 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 182 | 44 |
| 為替差益 | 2,413 | 26 |
| 受取賃貸料 | 1,064 | 239 |
| 還付金収入 | 594 | 3,873 |
| その他 | 2,054 | 1,081 |
| 営業外収益合計 | 6,309 | 5,264 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14,159 | 13,953 |
| 減価償却費 | 15,625 | 831 |
| 訴訟関連費用 | - | 5,907 |
| その他 | 1,255 | 2,190 |
| 営業外費用合計 | 31,040 | 22,883 |
| 経常利益 | 109,201 | 177,399 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,999 | - |
| 保険差益 | - | 23,106 |
| その他 | 308 | - |
| 特別利益合計 | 2,307 | 23,106 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 15,172 | - |
| 固定資産除却損 | 184 | 19,500 |
| 減損損失 | - | 3,379 |
| 特別損失合計 | 15,357 | 22,879 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 96,152 | 177,626 |
| 法人税等 | 22,754 | 40,600 |
| 四半期純利益 | 73,398 | 137,025 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 73,398 | 137,025 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 73,398 | 137,025 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 400 | △495 |
| 為替換算調整勘定 | 15,797 | △3,810 |
| その他の包括利益合計 | 16,198 | △4,306 |
| 四半期包括利益 | 89,596 | 132,719 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 89,596 | 132,719 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

なお、前連結会計年度の連結貸借対照表についても、当該会計基準等を遡って適用し表示しております。